

(1) めざすべき堺の将来像

今後市政を変革し、まちづくりを進めていく際の基本となる、めざすべき堺の将来像を以下のように示しています。

未来へ飛躍する自由・自治都市 ～安らぎ・楽しみ・活躍する場として「希（のぞ）まれるまち」へ～

堺は、かつてさまざまな文化を発祥し、国内外から人が集まり交流する「自由・自治都市」として繁栄した、輝かしい歴史を有する都市です。

先人から受け継いだ歴史と文化、自由と自治の精神を礎として、未来へ向けて挑戦し続け、飛躍していく都市であること。

そして、人が住む・憩う「安らぐ場」として、訪れる・遊ぶ「楽しむ場」として、働く・学ぶ・投資する「活躍する場」として、「希（のぞ）まれるまち」であること。

それこそが、これからの時代における、めざすべき堺の将来の姿です。



(2) 都市空間形成の方向性

都市の中枢性・拠点性を向上させるとともに、持続可能な都市の形成を図るため、以下の方向性によりまちづくりを進めることとしています。

I. 活力あふれる都市空間の形成

- ・ 都心地域において、各種都市機能を集積させ、広域的な都市圏の中枢を担う賑わいと交流の拠点を形成するとともに、地域拠点をはじめ各拠点の持つ特性や既存のストックを活かしながら時代に即した都市機能の更新や集積を図り、都市活力と生活利便性を向上させます。
- ・ 臨海部などに競争力を持った産業の集積を図るとともに、内陸部との連携を強化し企業立地の促進を図ります。
- ・ 公共交通や道路ネットワークを強化し、広域アクセス性と市内の移動・回遊性を向上させます。

II. 居住魅力あふれる都市空間の形成

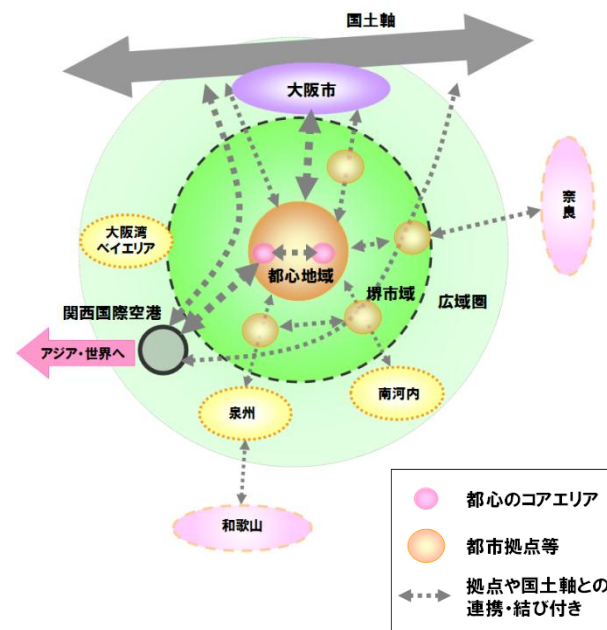
- ・ 歴史と文化を身近に感じられ、快適で質の高い居住環境を確保し、住みたくなる、住み続けたい居住魅力を創出します。
- ・ 水と緑を活かした良好な都市環境を創出し、潤いと活力ある地域づくりを進めます。

III. 環境と共生する都市空間の形成

- ・ 無秩序な市街地の拡大を抑制し、良好な自然環境や農空間の保全・再生・活用を図ります。
- ・ 都市機能が拡散しない都市空間の形成を図るとともに、都市活動における環境への負荷を軽減させます。

IV. 安全で安心して暮らせる都市空間の形成

- ・ 道路等の社会資本の計画的かつ適正な維持管理やユニバーサルデザインの推進などにより、誰もが安全で安心して活動できる良好な都市空間を形成します。
- ・ 災害に強い都市づくりを推進します。



(3) めざすべき都市の構造

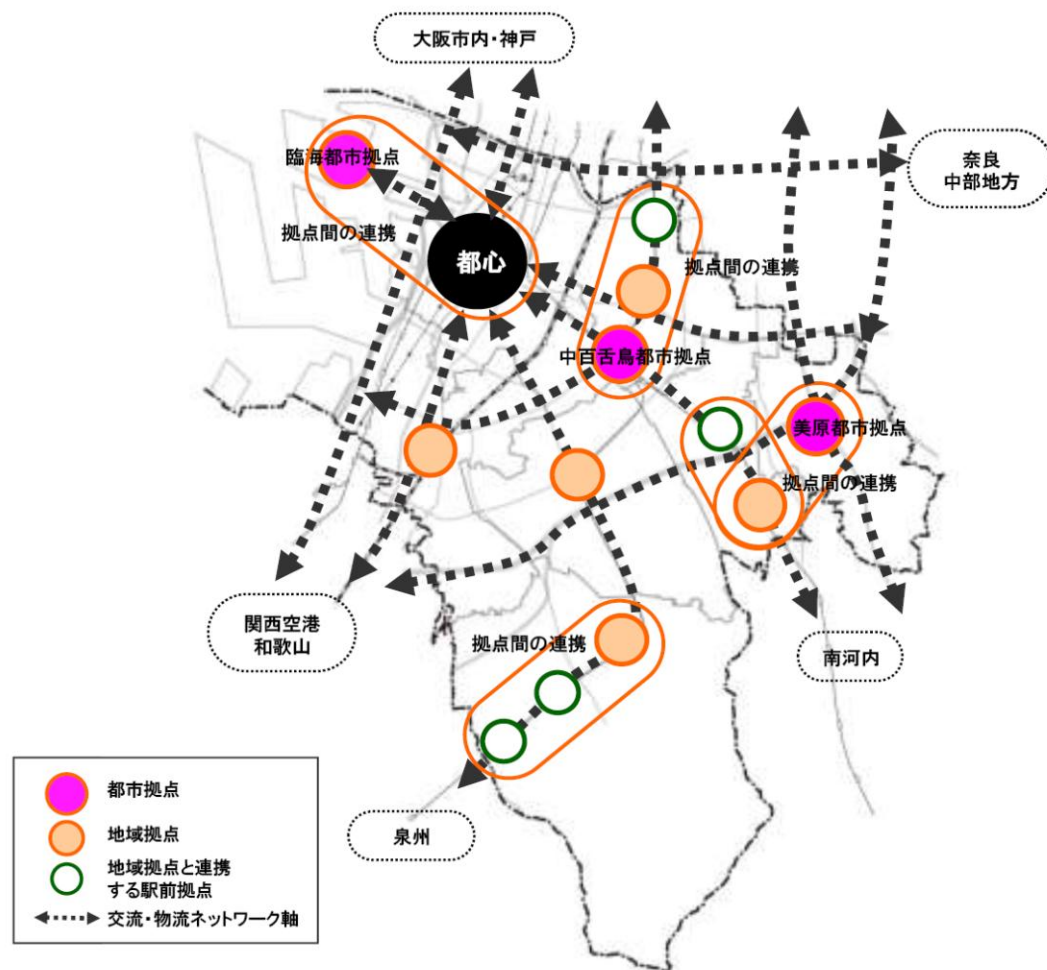
まちづくりを進めていくうえでの都市拠点や交流ネットワークのあり方や考え方を、以下のように示しています。

都市拠点と交流ネットワーク

市全体の発展の中心的役割を担う都心、都市拠点、地域における市民生活の拠点となる地域拠点および駅前拠点を設定し、各拠点に応じた都市機能の集積・強化を図るとともに、拠点相互の連携を図ります。

また、各拠点を中心として、市域全体の結びつきや広域的な連携を強化するため、公共交通や道路ネットワークを通して、内外からの人やモノの移動を円滑化し、交流を促進することによって、地域全体の活性化を図ります。

- 都心
- 都市拠点
 - ・ 臨海都市拠点
 - ・ 中百舌鳥都市拠点
 - ・ 美原都市拠点
- 地域拠点
- 駅前拠点



図．都市拠点と交流ネットワーク

(4) 都心地域のまちづくりの方向性

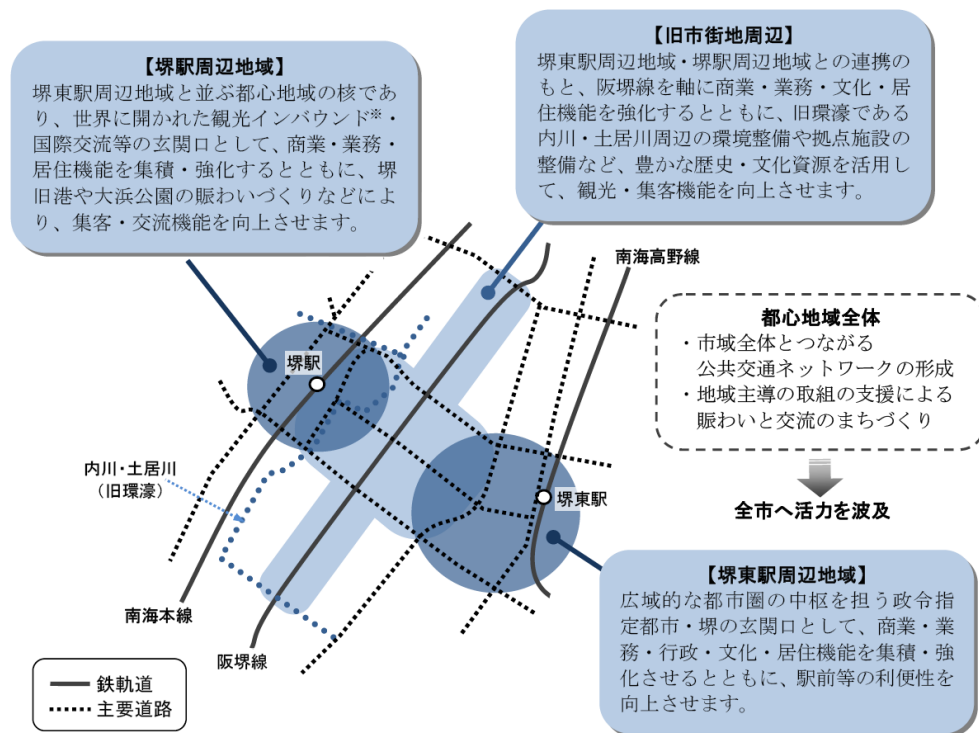
市全体の発展の中心的役割を担う都心地域のまちづくりの方向性を示しています。

都心地域については、本市を中心とした広域的な都市圏の中核として、堺東駅周辺と堺駅周辺を核に、商業・業務・行政・文化・居住などの複合的な都市機能の集積を図るとともに、大小路線（大小路シンボルロード）や大阪中央環状線フェニックス通り）、堺大和高田線などを軸とした東西方向の連携を強化します。

あわせて、旧市街地を貫く南北の中心軸である阪堺線を活用して、地域の歴史・文化資源を活かした集客・交流機能の向上に加え、堺らしい趣きの感じられる都市景観を形成することにより、国内外から人が集まり、賑わい、交流できる拠点づくりを進めます。

さらに、都心地域と市域全体を結ぶ公共交通ネットワークと道路ネットワークの形成を進め、交通結節機能を向上させることにより、市内各拠点との連携を強化し、市域全体の回遊性を高めるとともに、都心地域の活力を市域全体に波及させ、都市の発展を牽引していきます。

なお、都心地域を活性化するうえでは、多様な主体が連携した地元発意の取組を行政が支援していくことにより、自立的かつ継続的なまちづくりの推進を図ります。



図．都心地域のまちづくり推進イメージ図

(5) 持続可能な環境共生都市の実現

「環境モデル都市」として、次世代に豊かで良好な環境を引き継いでいくため、以下のような施策を推進し、市民生活や資源・自然環境、産業、交通などのあらゆる分野で、人と環境に優しいまちづくりを進め、持続可能な環境共生都市を実現することとしています。

◆施策5－4 人と環境に優しい交通体系の構築 など低炭素型都市構造への変革

環境に優しい低炭素型の都市構造への変革を進めるため、自動車への過度な依存から脱却するとともに、エコカーの普及促進を図り、公共交通や自転車など環境負荷の少ない交通体系へと移行させます。

【施策展開の方向性】

人の移動にかかる環境負荷の軽減を図るため、公共交通ネットワークの強化などにより利便性を向上し、市民の公共交通利用を促進するとともに、自転車や徒歩で移動しやすい環境整備を進めます。

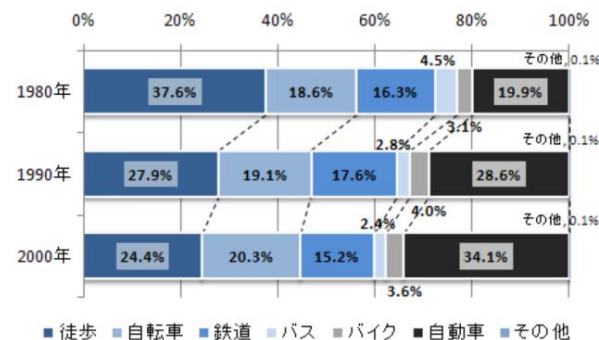


図. 堺市における交通手段の利用状況

世界のモデルとなる先駆的な低炭素都市『クールシティ・堺』

《プロジェクトを推進するための先導的な取り組み》

- エネルギー・イノベーション（産業構造の転換）
- モビリティ・イノベーション（都市構造の変革）
- ライフスタイル・イノベーション（環境文化の創造）

公共交通ネットワークの強化などにより、人と環境に優しい交通体系を構築し、環境負荷の少ない持続可能な都市構造へと変革を進めます。

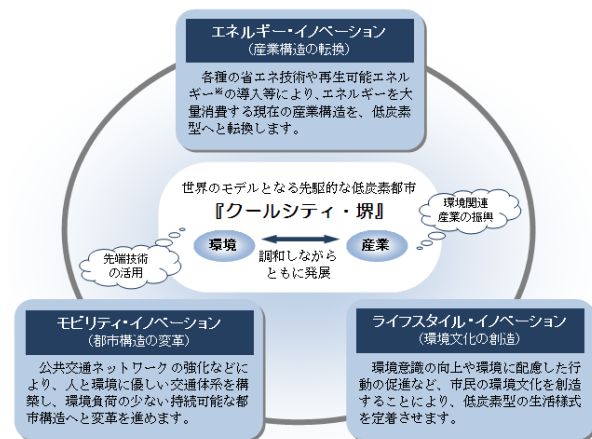


図. プロジェクトの推進イメージ図

(6) まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくり

本市の「顔」となる都心地域における魅力の向上や、各地域拠点の活性化を図るとともに、歴史・文化等の豊富な地域資源の活用や情報発信力の強化、新たな魅力の創造を通じて、人・モノ・情報が集まり交流する、活力と賑わいのあるまちづくりを進めることとしています。

◆施策6-3 利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成

地域の賑わいと交流を促進するため、市内をはじめ広域的な交通利便性の向上を図り、市内外から人・モノが行き交うまちづくりを進めます。

【施策展開の方向性】

少子化・高齢化の進展や、今後のライフスタイルの変化を見極め、広域的な視点を踏まえて、交通基盤整備と各交通機能との連携による総合的な交通体系を構築し、移動の円滑化および交流の促進を図ります。

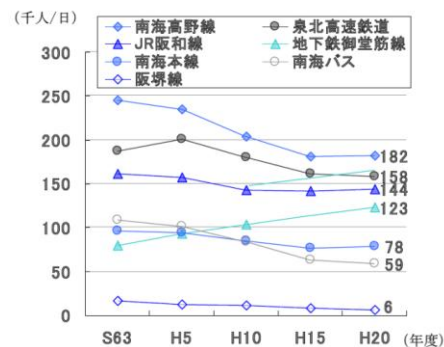


図. 公共交通利用者数の推移

◆施策6-4 歴史・文化資源を活かしたまちの賑わいの創出

本市の魅力を向上するため、本市に存在する多数の歴史的・文化的な資源を効果的に活用した観光振興に取り組むとともに、市内外への情報発信力を強化します。

【施策展開の方向性】

市内の歴史・文化資源を活かす情報発信力の高い拠点的な施設の整備を推進するとともに、市内の魅力ある資源をネットワーク化することで、市全体の魅力を高め、賑わいを創出します。

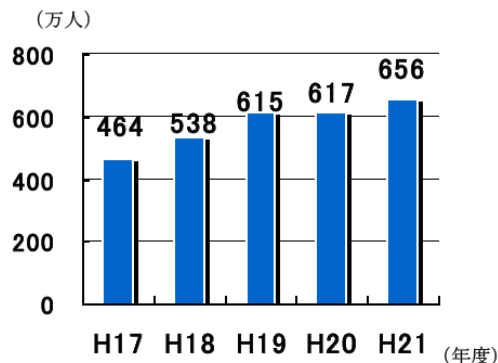


図. 観光ビジター数の推移

（１）都市づくりの基本姿勢

これまで守りはぐくまれてきた歴史・文化資源や拠点を中心に蓄積された良好な都市ストックを有効に活用しながら、社会経済情勢の変化や市がめざすまちづくり、都市づくりの課題に対応した持続可能な都市づくりを、市民、企業、行政等の多様な主体による協働と連携のもとに進めていくこととしています。

歴史・文化を活かし、持続可能な、自治都市を支える協働の都市づくり

- 輝かしい歴史・豊かな文化を活かし、世界に誇れるまちの活力や魅力を生み出す
- 拠点を中心とした都市づくりを継承しつつ、持続可能な低炭素都市づくりを進める
- 自由と自治の伝統を活かし、公民協働による市民自治を進める

（２）めざすべき都市像

活力あふれる都市

～賑わいと交流、産業活動を支える都市づくり～

環境と共生する都市

～自然と調和し、環境にやさしい低炭素都市づくり～

居住魅力のある都市

～やすらぎと歴史・文化が感じられる都市づくり～

安全で安心して暮らせる都市

～災害に強く犯罪等が起こりにくい、誰もが安心して暮らせる都市づくり～

活力あふれる都市 ～賑わいと交流、産業活動を支える都市づくり～

都心、都市拠点、地域拠点、駅前拠点を位置づけ、各々の拠点性を高めるとともに、公共交通ネットワーク等による相互の連携を図ることとしています。

活力あふれる都市

～賑わいと交流、産業活動を支える都市づくり～

都心などの拠点の活性化や公共交通ネットワーク等による相互の連携を図るなど、拠点を中心とした都市の再生を促進するとともに、世界との玄関口である関西国際空港や高速道路からの近接性などの広域的なアクセス性を活かし、産業基盤の再生や新たな民間投資の促進と歴史・文化などの資源を活用した観光・国際交流の促進を図り、魅力と活力ある都市づくりを進める。

【都市づくりの目標】

- 都市の拠点性を高める
- 民間投資を促進するとともに競争力の高い産業をはぐくむ
- 広域交通アクセス性、市内の移動・周遊性を高める

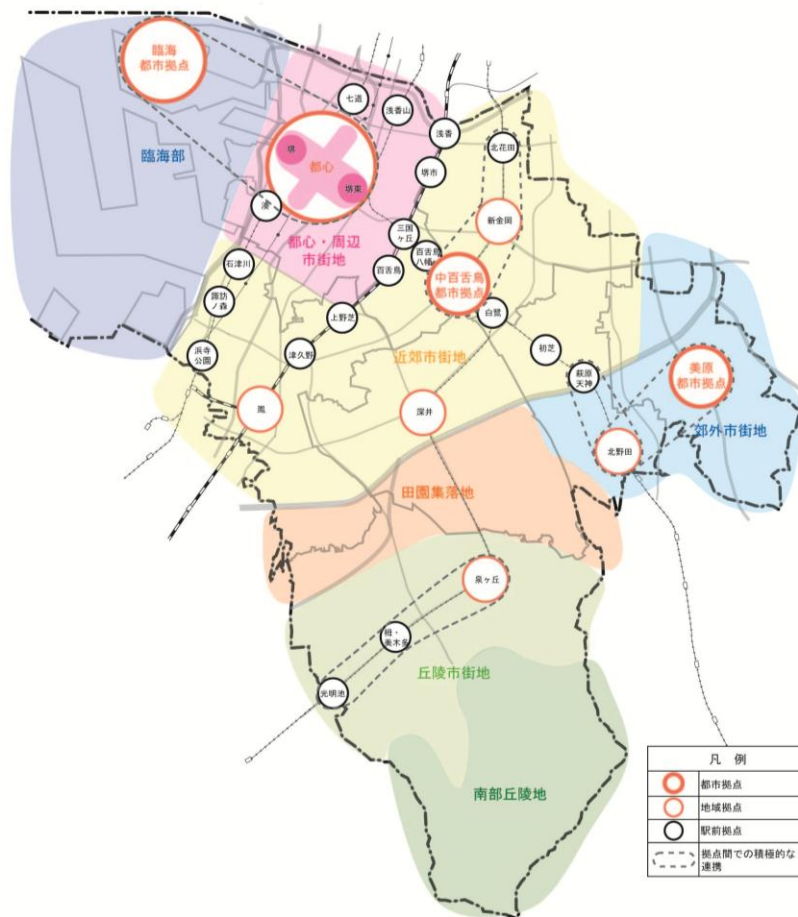


図. 拠点の配置

居住魅力のある都市 ～やすらぎと歴史・文化が感じられる都市づくり～

住環境の質的な維持・向上を図るとともに、地域の個性を活かした居住魅力の創出により、誰もが充実した豊かな暮らしを実感できる都市づくりを進めることとしています。

居住魅力のある都市

～やすらぎと歴史・文化が感じられる都市づくり～

良好な住宅や都市基盤などのこれまで蓄積してきた都市ストックや地域資源を有効に活用した既成市街地の再生を中心に、快適性や文化的魅力など、より住環境の質的な維持・向上を図るとともに、地域の個性を活かした居住魅力の創出により、誰もが充実した豊かな暮らしを実感できる都市づくりを進める。

【都市づくりの目標】

- 住みたくなる・住み続けたくなる居住魅力を創出する
- 多様な世代が交流し、地域で支え合う環境をつくる

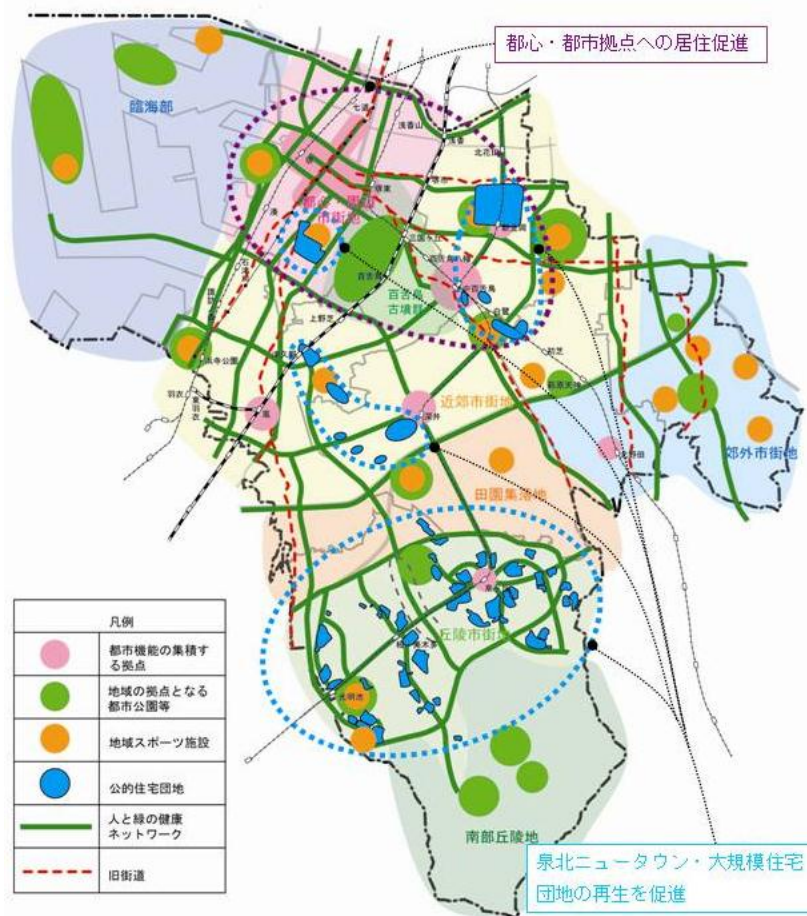


図. 居住魅力となる地域特性・資源

(3) 道路・交通の方針

道路・交通の方針として、公共交通を主軸とする交通体系の構築を図るとともに、公共交通ネットワークの形成や身近な公共交通の維持確保により、公共交通の利便性向上・利用促進につとめることとしています。

【基本的考え方】

- 人と環境にやさしく、まちの賑わいを支える公共交通をめざし、鉄軌道網や道路ネットワークなど既存のストックを活かした、公共交通を主軸とする交通体系の構築を図る。
- 集約型都市構造を支える公共交通ネットワークの形成や身近な公共交通の維持確保を図るとともに、公共交通の利便性向上・利用促進につとめる。
- 道路・交通基盤の整備にあたっては、交通事故の減少や、バリアフリー、防災、防犯対策に配慮して進める。

【都市づくりの取組み】

- ・利便性の高い公共交通ネットワークの形成
- ・各拠点の周遊ルートの形成および移動手段の確保
- ・きめ細やかな公共交通手段の確保
- ・各生活圏における歩行者・自転車ネットワークの形成
- ・温室効果ガスの排出抑制等環境に配慮した交通対策の推進
- ・安全で快適な公共施設等の整備

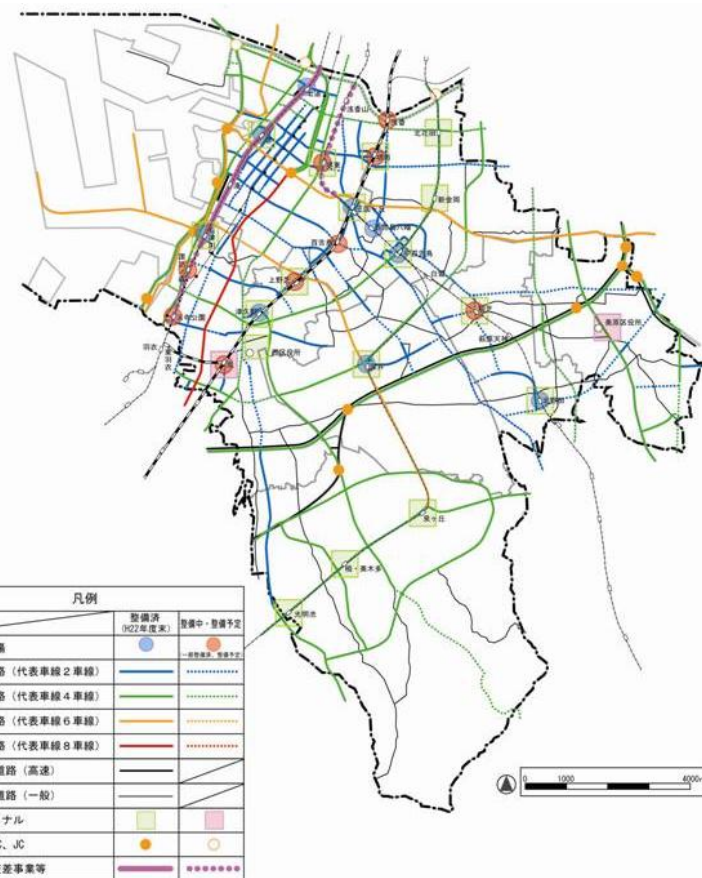


図. 道路・交通の方針図

(4) 堺区の都市づくり方針

堺区の都市づくりの基本方向として、歴史・文化資源等を活かした都心の活性化と魅力づくりや、暮らしの環境づくりを進めることとしています。

①拠点の強化と連携による都心の魅力と活力の向上

【都市づくりの基本方向】

- ◆都心の活性化と魅力づくり
- ◆臨海都市拠点の形成と魅力づくり
- ◆都心・臨海都市拠点の連携と都市機能の強化

②環境と共生した産業拠点の形成と内陸部の連携による活力の維持・向上

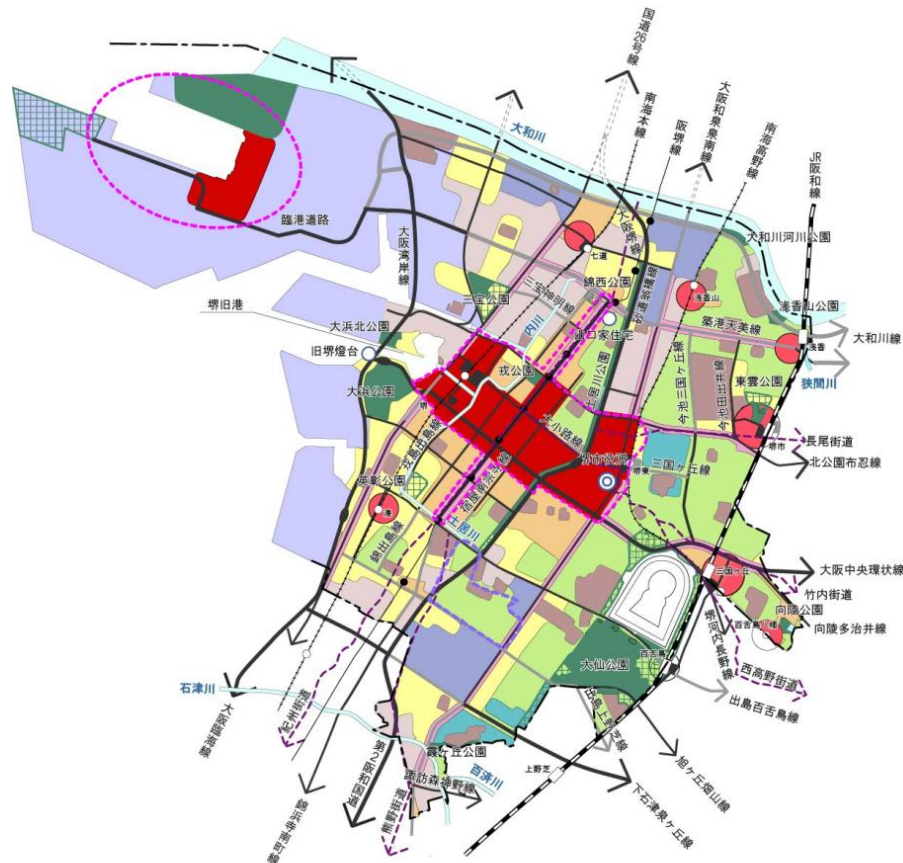
【都市づくりの基本方向】

- ◆環境先進型の産業拠点の形成
- ◆活性化のための魅力づくりと操業環境の維持・向上

③歴史・文化資源を活かした暮らしの環境づくり

【都市づくりの基本方向】

- ◆地域資源を活かした魅力の強化と快適性の向上
- ◆安全・安心な市街地環境づくり



凡 例			
都市機能集積地 (商業・業務地)		丘陵地	
		公共施設	
商業・サービス地	地域生活中心地	都市公園等	整備済み
	沿道型サービス地		整備予定
工業系産業地	住商複合地	都市計画道路等	整備済み
	住工共生地		整備予定
	内陸産業地	河川	整備済み
	臨海産業地		整備予定
住宅地	一般住宅地	池	
	中高層住宅地	田畑等	
	低層住宅地	地域資源等	
都市農業共生地		市役所・区役所	
		公的住宅の再生等	

図. 堺区の都市づくり方針図

都心及びその周辺地域において、一体的なまちづくりを推進することにより地域の活性化をめざしています。

【まちづくりの目標】

人が集い、交流し、賑わいと活力のあふれる都心
— 歴史・文化が香る自由・自治の進取の気風が息づくまちをめざして —

【まちづくりの基本方針】

1. 自由と自治のまち・堺を代表する活力あふれるまちづくり

歴史文化都市・堺を代表するまちの顔づくりと、都市魅力を向上する文化・交流機能、商業機能や行政機能などの都市機能の充実、交通ネットワークの強化などにより、さまざまな目的をもった人々が集まる活力あふれるまちをめざします。

⇒ 都市活力を支える交通ネットワークの形成

2. 文化の香り豊かな都心のライフスタイルを創出するまちづくり

日常的な利便性の向上など、誰もが快適に暮らせる生活機能の充実と、歴史を感じさせる水辺空間を活かした潤いのあるまちなみや、居心地のよいまちなか空間の形成など、豊かな都心のライフスタイルの創出と市民が愛着を感じられるまちをめざします。

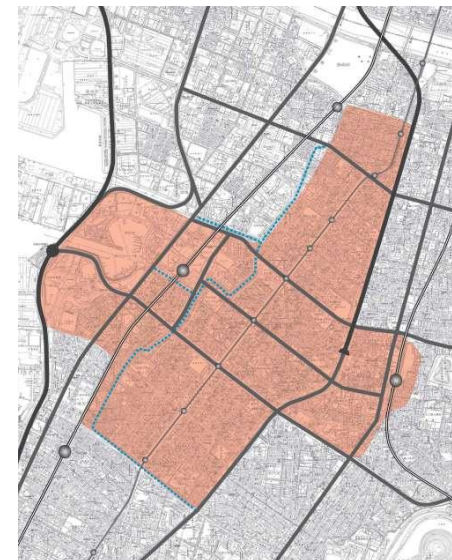
⇒ 人にやさしく歩いて楽しいまちづくり

環境にやさしい低炭素なまちづくり

3. 歴史を守り育み新たな魅力を創造するまちづくり

百舌鳥古墳群に始まる長い歴史の蓄積を今に伝える豊かな歴史・文化資源をまちづくりに活かし、堺ならではの新たな都市魅力を創出することにより、訪れたいまち、市民が誇りをもてるまちをめざします。

⇒ 観光資源を楽しく回遊できるネットワークの形成



図．計画の対象区域

都市活力を支える交通ネットワークの形成

本市と大阪市内の拠点や関西国際空港などを結ぶ南北方向中心の既存鉄道網を結節し、東西方向の交通機能や都心地域と市内各拠点との連携の強化により、都心地域へのアクセス性を向上し、都心地域の中枢性を高めるとともに市内外との交流を促進します。

これとあわせて、阪堺線や路線バスを含めた面的な公共交通ネットワークの形成を進めるとともに、バス利用環境及び自転車通行環境を整備し、誰もが利用しやすい交通体系を構築します。

○総合都市交通計画において、既存鉄道網を結節する東西方向の交通機能強化についての検討を進めます。

○堺東駅周辺においては、交通結節点としての機能を強化するため、南海高野線の連続立体交差化にあわせ堺東駅前広場の再整備によりその機能を拡充します。

○阪堺線については、都心地域における基幹的な公共交通軸であるとともに、長年市民に親しまれていることから、自立と運行継続を図るための支援策の実施により、沿線のまちづくりとも連携しながら活性化を図ります。また、停留場への自転車のアクセス性向上を図ります。



人にやさしく歩いて楽しいまちづくり

安全で快適な歩行者空間や公共交通の充実により、車に頼らず、歩いて出かけたくなるような人にやさしいまちづくりを進めます。また、徒歩や自転車による回遊性の向上や魅力的な都市空間の形成など、まちなかで長い時間を過ごしたくなるような、歩いて楽しいまちづくりをめざします。

○堺東駅周辺地域・堺駅周辺地域や、歴史文化資源の点在する旧市街地における各エリア内の回遊性の向上を図ります。

○堺東駅・堺駅間の一体的なまちづくりめざし、幹線道路を軸とした東西方向の連携強化により、都心地域全体の回遊性を高めます。

○歩行者と自転車利用者が安全に通行できる環境を整備し、自転車で楽しく回遊できる空間を創出します。

○まちなかに滞在したくなるような空間の形成や機能導入を支援することにより、居心地のよい生活空間の創出をめざします。



環境にやさしい低炭素なまちづくり

公共交通や自転車の利用拡大を通じて、低炭素で環境負荷の少ない都市環境を創出します。あわせて、高い環境性能を有する建築物の普及、幹線道路の緑化、生活に密着した緑や水辺の保全などにより環境負荷を低減するまちづくりを推進します。

- 自動車利用から自転車への転換をめざし、コミュニティサイクルの充実や、自転車が安全で快適に走行できる環境の整備を図ります。
- 低炭素社会の実現に向けた長期優良住宅の普及や、住宅の省エネルギー化などによる環境に配慮した住環境の形成を図ります。
- 幹線道路などを重点的に緑化するとともに、市民との協働により地域の生活に密着した緑や水辺の保全・充実に努めます。



観光資源を楽しく回遊できるネットワークの形成

都心地域内には旧市街地周辺を中心に数多くの歴史・文化資源が点在しているものの、観光資源を巡るネットワークという点では不十分な状況にあります。そこで、世界文化遺産登録をめざす百舌鳥古墳群など市内の観光資源を含めた回遊性向上のため、旧市街地の中心部に観光案内施設や交通ターミナル機能を有する文化観光拠点を整備するとともに、観光サインの整備、公共交通との連携、コミュニティサイクルや観光レンタサイクルの活用などによる観光ネットワークを構築します。

- 市内に点在する観光資源のネットワークの拠点となる文化観光拠点の整備を推進します。
- 主要駅等を基点とするコミュニティサイクルの利用環境向上や、阪堺線・バスなどの公共交通の利用促進を図ります。
- 点在する歴史・文化資源を有機的に結びつけ、まちの活性化を図るため、人物・文化・伝統などのテーマにより、堺のまちを体感できるフィールドミュージアム構想を推進します。



由緒ある堺の歴史文化資源と新たな臨海部の資源との融合を図りつつ、政令指定都市にふさわしい魅力溢れる臨海部の将来のあるべき姿、施策の方向性などを示しています。

【基本理念】

市民の財産「堺の“海”・“浜”」の再興・発展・継承

【将来像】

環境負荷の軽減に配慮しつつ、由緒ある歴史文化資源と新たな資産が融合した、憩い・癒し・賑わいある人や生き物にやさしい堺の海辺

【基本方針及びプログラム戦略】

(1) 臨海部の賑わいづくり＜黄金の日々・堺の再興＞

歴史文化資源や新たな観光資源を活用し、市内観光ネットワークの一翼を担う魅力あるエンターテインメント・アーバンツーリズムの創出

(2) 海の市民開放＜白砂青松・茅渚（ちぬ）の海の再生＞

市民・来訪者が海を眺め、海と触れ合えるアメニティ豊かで、様々なライフスタイル・欲求を実現することができるヘルス・スポーツツーリズムの創出

(3) 自然再生を通じた人材育成＜「自由と自治」の精神を受け継ぐ市民との協働＞

市民・NPOなど多様な主体による大阪湾の自然環境の再生・創造や環境・生涯学習を通じた人材育成を展開するエコ・エド・アグロツーリズムの創出

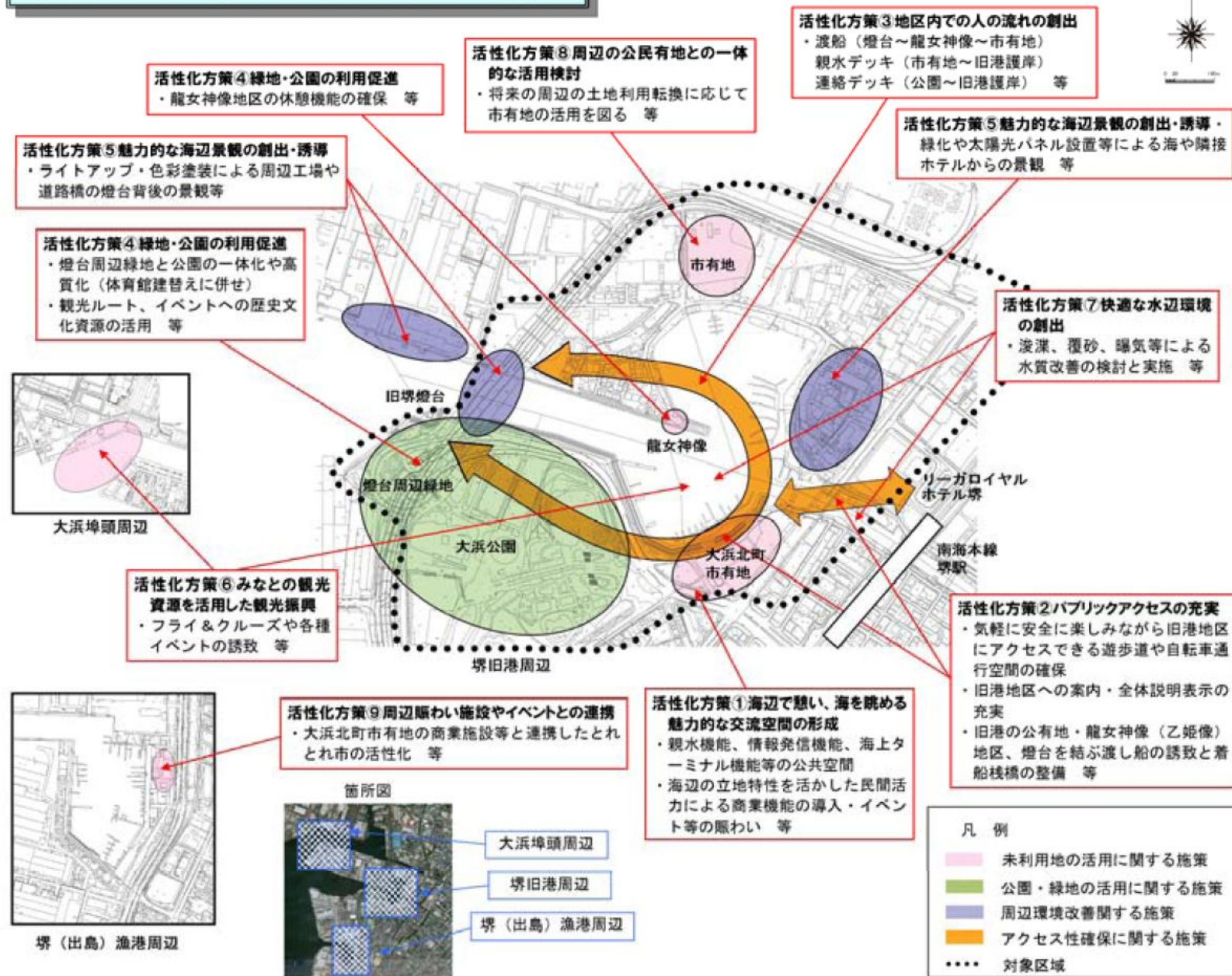
(4) 先進的な地球環境問題への対応＜「ものの始まりなんでも堺」の実践＞

国内外のモデルとなる先進的な環境改善技術の研究・実践を通じ、低炭素都市「クールシティ堺」や循環型社会の実現、更なる市の発展に貢献するテクノツーリズムの創出



施策展開（堺旧港）

活性化コンセプト：都心での海辺文化・賑わいの再興



世界文化遺産への登録に向けた取り組み

日本の古墳文化を代表する世界的な遺産として高く評価されている百舌鳥・古市古墳群の保存・継承と、歴史文化を活かしたまちづくりの推進をめざして体制を強化するなど、世界文化遺産登録の早期実現に向け、取り組みを進めています。

【世界遺産暫定一覧表記載までの経緯】

- 平成19年9月26日 大阪府、羽曳野市、藤井寺市と共同で、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産暫定一覧表記載を文化庁に提案
- 平成20年9月26日 世界文化遺産特別委員会 「世界遺産暫定一覧表への記載が適当」と評価
- 平成22年6月14日 世界文化遺産特別委員会 世界遺産暫定一覧表への記載を了承
- 10月6日 世界遺産条約関係省庁連絡会議で了承、世界遺産暫定一覧表に記載

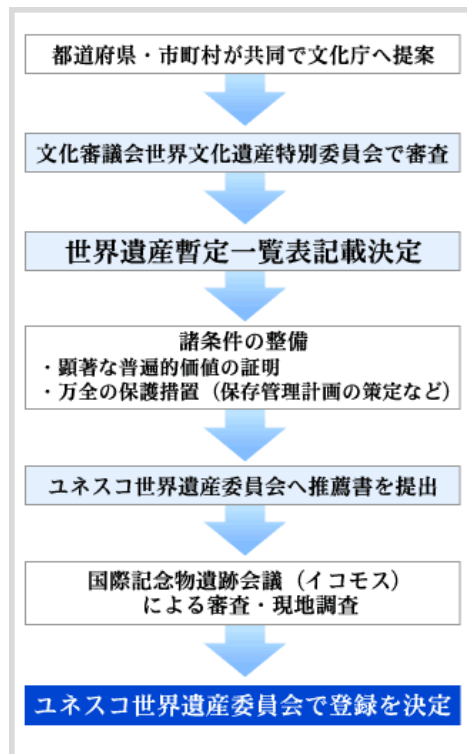


図. 世界文化遺産登録の流れ



図. 百舌鳥古墳群



図. 古市古墳群



図. 仁徳天皇陵古墳